

パネリストの経歴

【コーディネーター ^{ひぐち よしお}樋口 美雄 氏（慶応義塾大学商学部教授）】

・まち・ひと・しごと創生会議 有識者委員

・1952年生まれ。商学博士。一橋大学経済学研究所客員教授、米国スタンフォード大学経済政策研究所客員研究員、オハイオ州立大学経済学部客員教授等を経て現職。専門は労働経済学・計量経済学。厚生労働省労働政策審議会会長などを歴任。

○ ^{くき くにやす}久喜 邦康 氏（埼玉県秩父市長）

・1954年生まれ。日本医科大学大学院卒業。医学博士。昭和63年に秩父市にて久喜医院を開業。平成18年に秩父市議会議員をへて、平成21年5月から現職。市長就任以来『一步一步 前へ前へ 確実に』市政進展に努め、秩父地域1市4町で推進する「ちちぶ定住自立圏」により、水道の広域化や医療・福祉の充実、おもてなし観光などで大きな成果をあげる。50年、100年先を見据えた事業として、新市役所庁舎、新市民会館の建設、広域の事業として新火葬場の建設などを実施した。「豊かなまち環境文化都市ちちぶ」を将来都市像として、日本一しあわせなまちづくりに奔走する。

秩父市では、2014年7月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ ^{こしかわ しんいち}越川 信一 氏（千葉県銚子市長）

・1961年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。民間企業、銚子市議会議員（2期）を経て、2013年から現職。市長就任以来、「対話」と「つながり」の姿勢をテーマに財政の健全化、市立病院の再生等について改革を進める。若い人が住みたくなるまちづくりを目指し、アーティストの支援、育成、定住化につなげる「銚子芸術村」や、企業や若手起業家を誘致するための「企業・起業家誘致推進事業」など、地域におけるイノベーションの核となる人材を呼び込むための施策を推進している。

銚子市では、2014年12月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ ^{まつもと} **松本** ^{ゆういち} **祐一** 氏（多摩大学総合研究所教授）

・1972年生まれ。多摩大学大学院経営情報学研究博士課程前期修了。専門は地域経営論。学問のバックグラウンドは、社会学、戦略論、消費者行動論、マーケティング。学生時代にNPOの運営を経験、その後、マーケティング会社で商品開発・市場開発の仕事に従事し、2005年から現職。

○ ^{やまだ} **山田** ^{けいいちろう} **桂一郎** 氏（JTIC.SWISS 代表・政府認定観光カリスマ）

・三重県津市生まれ。観光カリスマ（内閣府・国土交通省（観光庁）・農林水産省 認定：2005年）として、ヨーロッパを中心とした環境保全と滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かし、地域振興に関する講演やセミナーに全国各地から招聘されている。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出。